

市長定例会見

2026年6月11日

今日お伝えしたいこと

- 1. フランス・ナンシー市出張報告**
(Urban7市長サミット)
- 2. まちなかの温度を下げる～高温常態化対策の強化～**

**フランス・ナンシー市出張報告
(Urban7市長サミット)**

期 間

2026年6月2日(火)～4日(木)

内 容

- ・ G7 各国や他の国々から都市の代表者等が参加し、意見交換を実施
- ・ Urban7 からG7 に対する提言内容について議論を行い、宣言文として採択

【参考】 Urban7

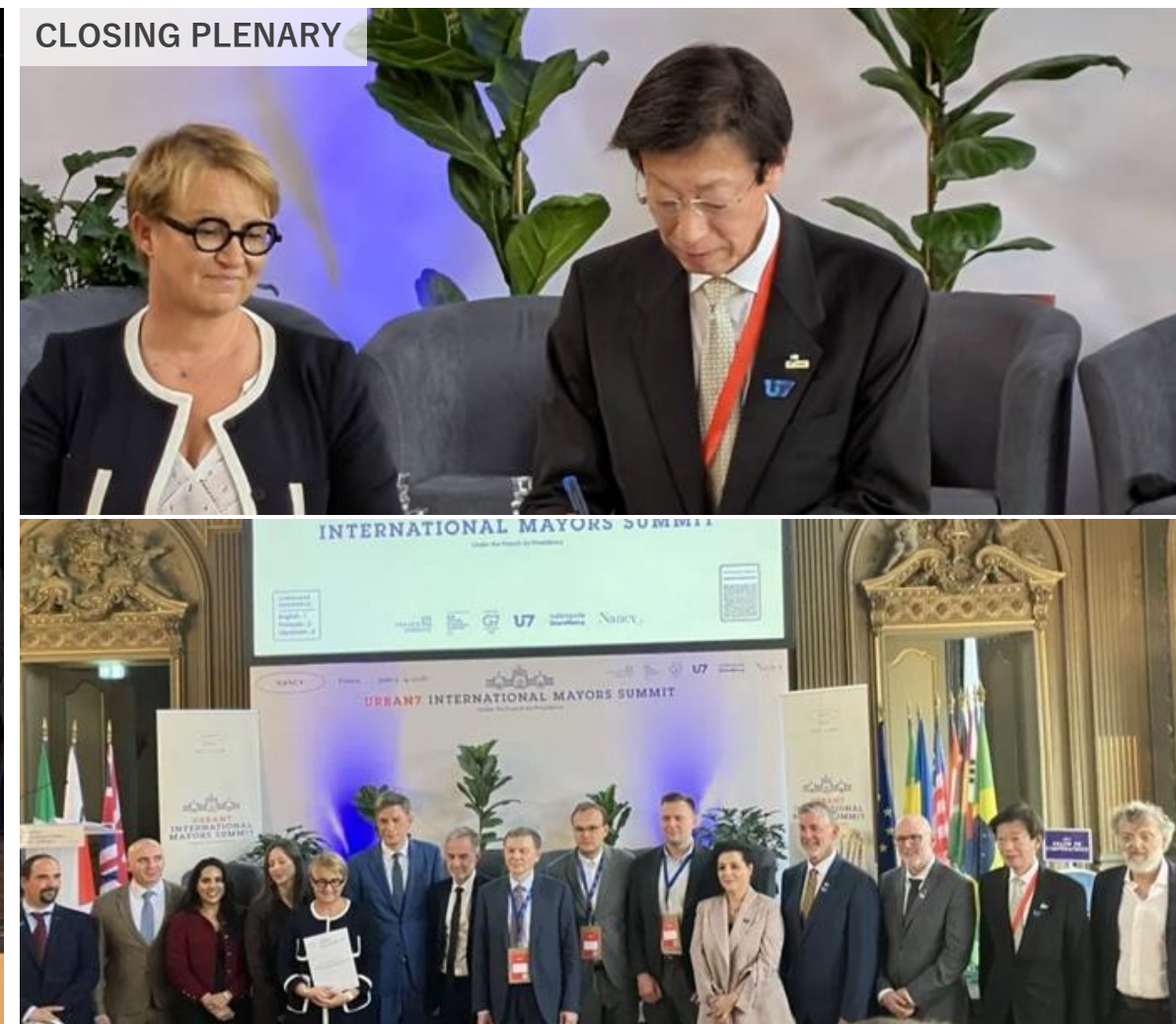
- ・ G7各国の都市連合で構成される連合体（日本からは指定都市市長会が参加）
- ・ G7 議長国の都市連合が主催となり、毎年Urban7 市長サミットを開催
- ・ 本年、G7議長国のフランスはUrban7 を公式エンゲージメントグループに認定

WORKSHOP



神戸の地域防災組織づくりを紹介

CLOSING PLENARY



共同宣言に各市が署名し採択

都市の役割

III . CITIES AS ENGINES OF COMPETITIVENESS AND SUSTAINABLE TRANSFORMATION

Integrated Urban Transformation: We call on G7 governments to support integrated urban transformation strategies that align housing, mobility, energy, digital, and climate investments at the city scale, recognising that fragmented sectoral interventions cannot deliver the systemic outcomes the G7 agenda requires, and **that cities, in close coordination with regions, are the only level of government capable of coordinating these investments around the lived realities of residents.**

III . 競争力と持続可能な変革の原動力としての都市

都市こそが広域との調整により、住民の実生活に即してこれらの投資を調整できる唯一の政府レベルだからである。

手頃な住宅供給の必要性

II . URBAN RESILIENCE, HOUSING AND SUSTAINABLE URBAN DEVELOPMENT

Cities and communities across and beyond the G7 face a growing housing crisis, fuelled by skyrocketing rental, property, and energy and raw materials prices, and reflected in rising levels of homelessness across many G7 territories.

We reiterate that access to adequate, affordable, and sustainable housing in urban centres is fundamental to social cohesion, economic stability, inclusive urbanisation, environmental responsibility and the safety of our cities.

II .都市のレジリエンス、住宅、そして持続可能な都市開発

私たちは、都市中心部における適切で手頃な価格の持続可能な住宅へのアクセスが、社会の結束、経済の安定、包摂的な都市化、環境責任、そして都市の安全にとって不可欠であることを再確認する。

AIとデジタル・ガバナンス

III . CITIES AS ENGINES OF COMPETITIVENESS AND SUSTAINABLE TRANSFORMATION

Artificial Intelligence and Digital Governance: (略)

We further call on G7 nations to address the nexus between digital governance and democratic resilience, including the threats posed to local democracy by AI-enabled disinformation, algorithmic opacity, and digital surveillance, and to ensure that the digital transition strengthens, rather than erodes, the conditions for democratic life in our cities.

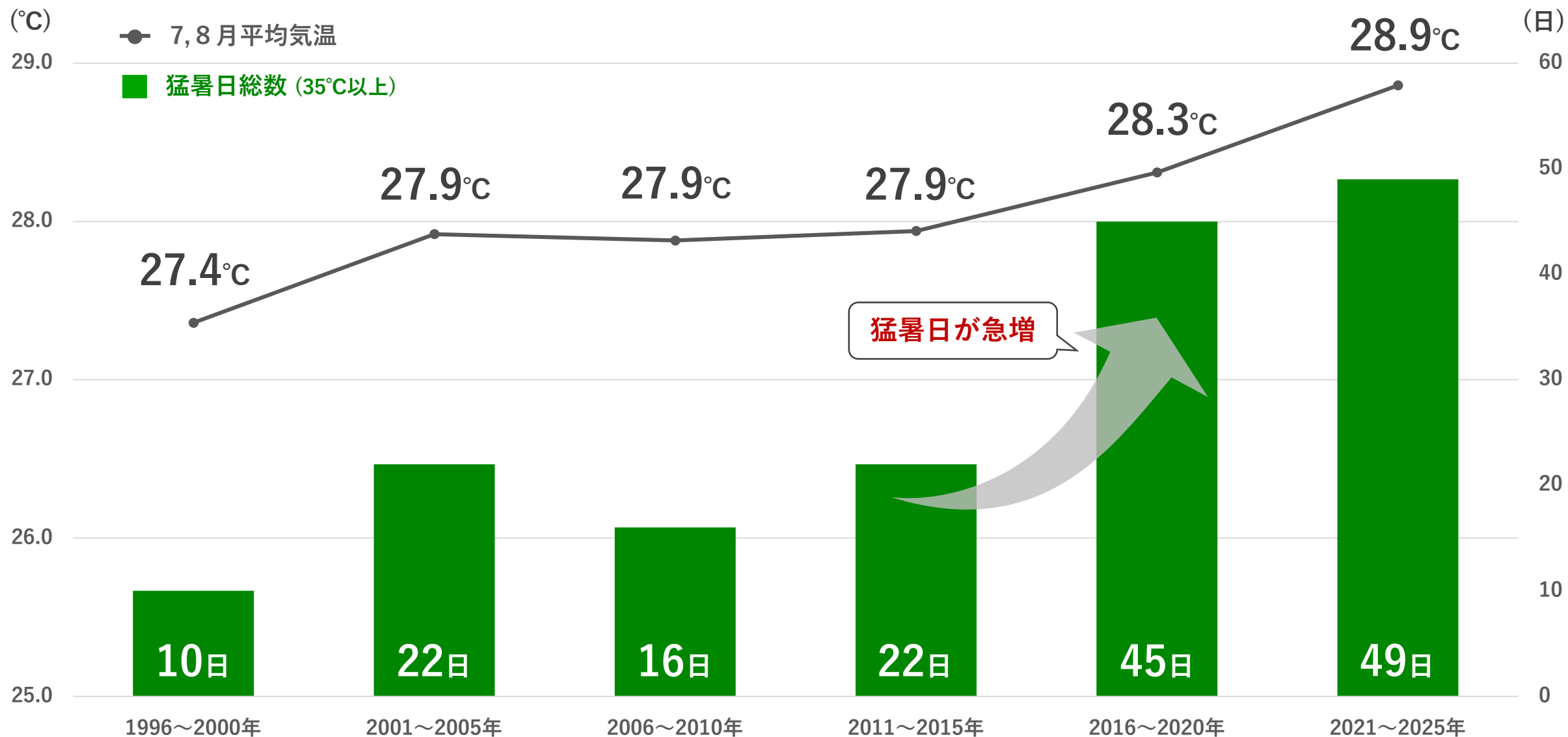
III . 競争力と持続可能な変革の原動力としての都市

人工知能 (AI) とデジタル・ガバナンス :

さらに、AIを活用した偽情報、アルゴリズムの不透明性、デジタル監視が地域の民主主義にもたらす脅威を含め、デジタル・ガバナンスと民主的レジリエンスの密接な関わりに対処することをG7諸国に求めるとともに、デジタル化への移行が都市における民主的生活の条件を損なうのではなく、強化するものとなるよう求める。

**まちなかの温度を下げる
～ 高温常態化対策の強化 ～**

神戸市内の高温常態化



従来からの取り組み

ミスト



サンキタ広場など22箇所に設置

クールベンチ



磯上公園に設置

クールオアシス



市内全域 895カ所 (6月時点)

水盤・噴水



メリケンパークなど8箇所に設置

特殊舗装



ポートセンター街園などで実施

芝生整備

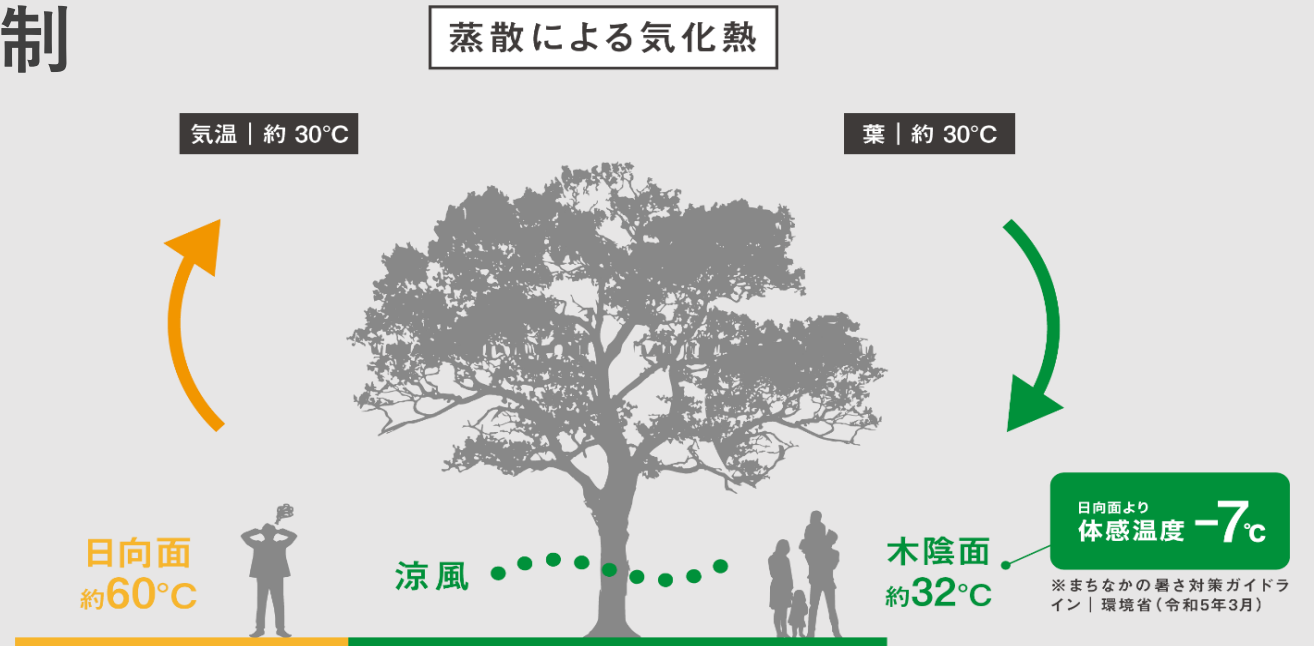


東遊園地・磯上公園

1 地表面の温度上昇の抑制

2 体感温度の低下

3 さらに木陰では蒸発散による周辺気温上昇の緩和



もっと日陰のある過ごしやすいまちへ

緑の特徴を活かした日陰づくり

○こうべ木陰プロジェクト

新たな植樹や既存樹の木陰拡大で、まちなかの日陰を増やす

<2026年度の取組み>

[つくる]



[育てる]



[知ってもらおう]



新技術で日陰づくり

2024年

開閉式人工日除けを民間企業と共同研究開始

➡ 日陰の大きさ、強風時の撤収の手に課題

2025年～

より効果的な日除けを検討

日本初

➡ 日差しや風に応じて自動開閉する

「**神戸版スマートシェード**」を技術実証

7月より設置数拡大



機能

天候連動型の自動制御

- ・ 照度20,000lux以上で開き、未満で閉じる
- ・ 風速10m/sが3秒以上で閉じる

➔ 運用負担を抑え、環境に応じて日陰を創出

今年度設置数

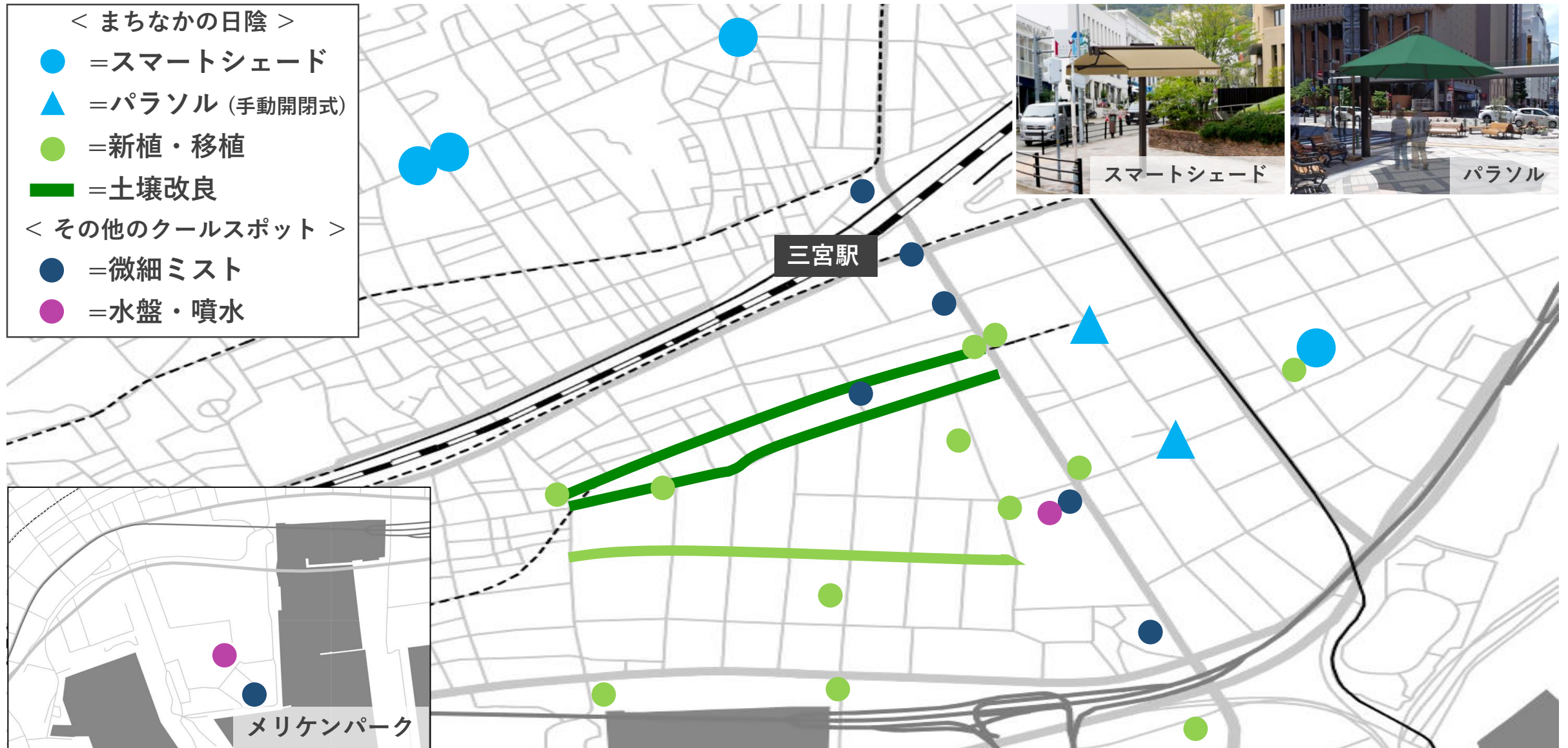
9 基 (7月5基、8月以降4基) 別途パラソルも 2 基設置

中山手 3 丁目交差点 (2 基)、磯上公園

中山手 1 丁目東交差点、妙法寺川左岸公園 他



まちなかに広がる日陰





まちの高温常態化対策に取り組み

夏でも安心して外出できる環境を整えてまいります